

平成 22 年度 市政運営会議の議事概要について

日 時	平成 22 年 12 月 20 日（月） 13 : 30 ~ 13 : 55
議 題	事業系ごみの資源循環を進めていくための取組みについて（環境局）
出席者	高島市長，高田副市長，轟川副市長，総務企画局長，財政局長， 総務企画局理事 環境局長ほか
決定事項	事業系ごみの資源循環を進めていくための取組みについて，別紙のとおりとすることを決定した。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファンドの対象範囲や規模等については，本市の財政状況を踏まえ，既存の事業系ごみの資源化推進事業のほか，環境施策全体の中で検討する必要があるので，23年度予算編成の中で整理していくこととしている。 ・ ファンドについては，その特長である年度間の財源調整機能を活かし，一定程度の事業規模のものに対して活用していくことが望ましいと思われる。 ・ また，ファンドの運営については，ごみの減量化や資源化率の向上等の成果目標を定め，各々の事業が目標達成にどれほど寄与したかという観点から，事業評価をしっかりと行い，次年度以降の事業展開に反映していただきたい。 ・ その他，ごみ処理手数料については，今回の減免率見直しによっても，ごみ処理コスト（180円／10kg）に見合うものではないので，ごみ処理手数料の見直しについて，引き続き検討を進めていただきたい。 ・ これまでの様々な取組みの結果，ごみの減量化が進んでいるところであるが，ごみ処理経費については，施設における処理経費がかなりの部分を占めているため，ごみの減量化ほど，コスト削減が進んでいないのが現状である。今後，ごみ処理経費抑制に向け，中長期的な工場の稼働体制などを含め検討を進めていただきたい。